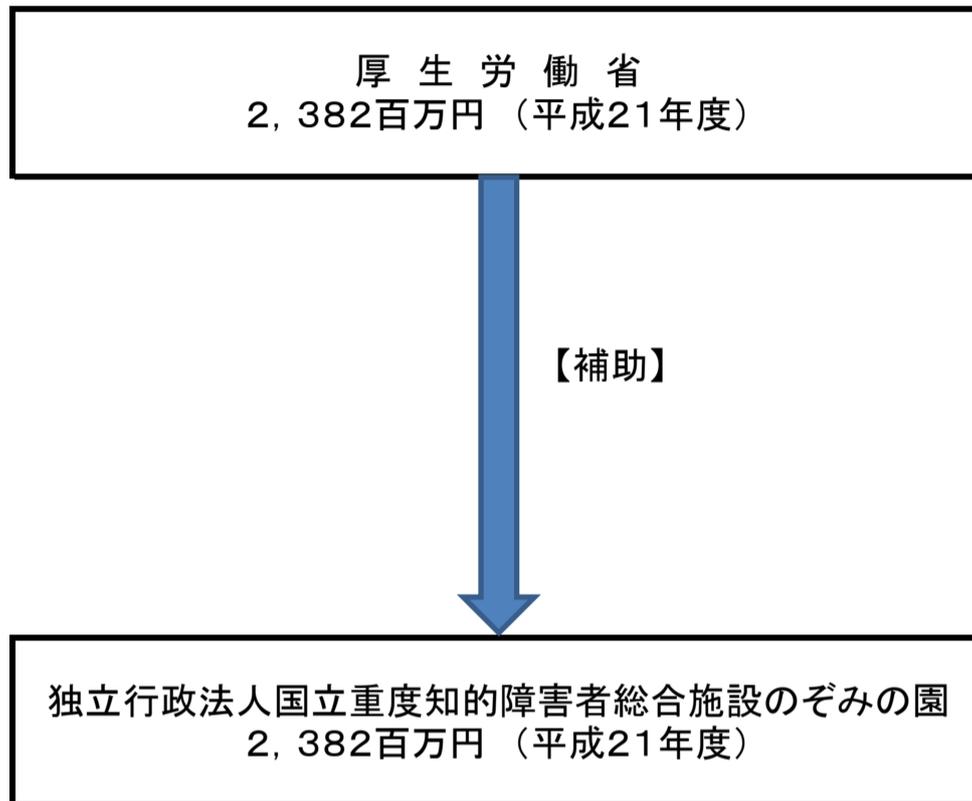


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園運営費交付金に必要な経費	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部	担当課室	企画課施設管理室	小河芳弘		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園法	関係する計画、通知等	第2期中期目標・計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が、知的障害者の福祉の推進を図る観点から、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施するために必要な費用の補助を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園を対象とし、当該法人が重度知的障害者の地域移行、行動障害等を有するなど著しく支援が困難な知的障害者に対するモデル支援及び調査・研究、それらの成果等を活用した養成・研修等を行うための費用を補助している。					
実施状況	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園は、この交付金による補助を受けて、次の事業を実施している。 ・施設利用者(入所)371人(平成22年4月1日現在)に対して、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供 ・重度知的障害者の地域移行及び行動障害等を有する者など、著しく支援が困難な者への支援方法の調査・研究とその成果の情報発信(平成21年度調査・研究12件) ・全国の知的障害関係施設職員を対象とした養成・研修の実施及びボランティアの受入等(平成21年度 実習生905人、ボランティア延べ694人) ・重度知的障害者の地域移行、障害者自立支援法に基づくサービス支援技術等に対する援助・助言(平成21年度件数140件)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,553	2,596	2,382	2,264	2,261
	執行額	2,553	2,596	2,382		
	執行率	100%	100%	100%		
	総事業費(執行ベース)	4,413	3,958	4,103		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 交付金の執行状況については、毎事業年度ごとに当該法人が作成する決算関係書類や事業実績等により把握している。また、独立行政法人通則法に基づく、評価の仕組みの中で事業実績等の適切性に関する点検を受けており、平成20年度は一定の成果を上げたものとして評価されている。				
	見直しの余地	独立行政法人通則法に基づく、評価システムにおいて、執行状況や事業実績について点検を受け、改善の必要があれば次年度に反映させる。				
予算監視の所見率化	本事業の必要性や執行の観点からも適切であり、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)



【事業概要】

この交付金は、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園が、知的障害者の福祉の推進を図る観点から、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を実施するために必要な費用の補助を行う。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員人件費	1,817			
物件費その他	光熱水料、通信運搬費、雑役務費等	565			
	金額については、平成20年度法人全体の支出額の割合から算出				
		2,382	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0